



# 栄光八事新聞



令和7年度  
2025.7

愛知県警察本部

見学  
(年長・青組)

## 親子ふれあいデー ふれあい運動会

四月十九日、モリコパークにて、親子ふれあいデーが行われました。

前日からお天気が心配される中、当日の朝は、お天道様が顔をだし、運動会が無事開催されました。

各学年のルートに分かれて、ネイチャークラブの先生と一緒に、親子で散策です。カードを見ながら同じ草花を探したり、先生達からのミッションに挑戦！ミッションをクリアして、芝生広場にゴールすると、園長先生からご褒美のシールをゲット！どの親子もゴールした達成感で満面の笑みが見られました。

親子で、春の草花を探し、触れて、感じて、観察して、遊び、自然を身体いっぱい感じた「親子ふれあいデー」でした。



ゴールを目指したかけっこ、心を一つに踊ったダンス、親子で協力して頑張った競技、どの競技も子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。最後までやり遂げる力が身についた運動会になりました。



令和7年度  
2025.7

愛知県警察本部

見学  
(年長・青組)

警察本部では、指令室で生の警察官のお仕事を見学したり、交通ルールを学び、実際に信号機を見て横断歩道を渡る体験をしました。制服を着て、大きな白バイに乗って、写真撮影会も貴重な体験になりました。



## 文化芸術体験 『パーカッション』



## 森の階段 完成式



森の階段がリニューアルし、全園児・あべまき会総務の方・職員でテープカットを行いました。段差が整い、手すりも園児の高さに合わせて安全に配慮された階段が完成。森で遊んだり、体育コーナーで駆け上がったたり、未入園児さんの園庭開放でも大活躍しそうですね！テープカットの後、全園児が軽快に階段を歩きました。



本物を体験して感性を豊かにするカリキュラムの一つに文化芸術体験があります。第一回目のパーカッション体験は、ドラム・カホン、オーシャンドラム、スプリングドラム、ウイドチャームなど、初めて見る楽器に興味津々の子どもたちでした。楽器によって、音を鳴らすのに悪戦苦闘したり、大きな音が出ると「うわわ！」と歓声が上がったり、いろいろな音の響きを感じていました。最後は素敵な演奏に心も身体も弾んだ文化芸術体験でした。

森の階段がリニューアルし、全園児・あべまき会総務の方・職員でテープカットを行いました。段差が整い、手すりも園児の高さに合わせて安全に配慮された階段が完成。森で遊んだり、体育コーナーで駆け上がったたり、未入園児さんの園庭開放でも大活躍しそうですね！テープカットの後、全園児が軽快に階段を歩きました。

## 「地頭力」

先日、教育評論家の尾木直樹さん(尾木ママ)の講演を聴いてきました。

AI時代、VUCA(不確実)の時代には、地頭(じあたま)力が重要と説かれます。地頭は生まれもった知能と言いますが、不確実の時代には、IQ(知能指数)以上に、HQ(人間性、人間力が求められます。知識量はAIにとって代わられ、「なぜ」「どうして」と問題を見つけ、いろいろなやり方で解決し、新しい発見や創造をする人間力が、未来の人財となるわけです。この基は、幼児期の原体験であり、尾木ママは「地頭を育てる八つの領域」を挙げています。

- ①動物の体験  
ペット、飼育物とふれあい  
生死を感じる
  - ②草の体験  
笛、匂い、草木染め
  - ③木の体験  
香り、倒木から苔、新芽が  
うまれる輪廻
  - ④水の体験  
涼や冷、心の解放
  - ⑤火の体験  
つける、消す、焚き火
  - ⑥石の体験  
飛び石、積み石
  - ⑦土の体験  
感触、どろんこ、掘って虫が  
出るなど
  - ⑧ゼロの体験  
暗闇、極寒、星、宇宙  
人間を超えた力を感じる
- つまり自然の中の原体験こそ、感性、思考力、探究心、創造力を育て、地頭を鍛えるカギがあるのです。この夏休み、たっぷりお子さまが自然体験できるキャンプもおすすすめします。

園長 岡田 勝彦